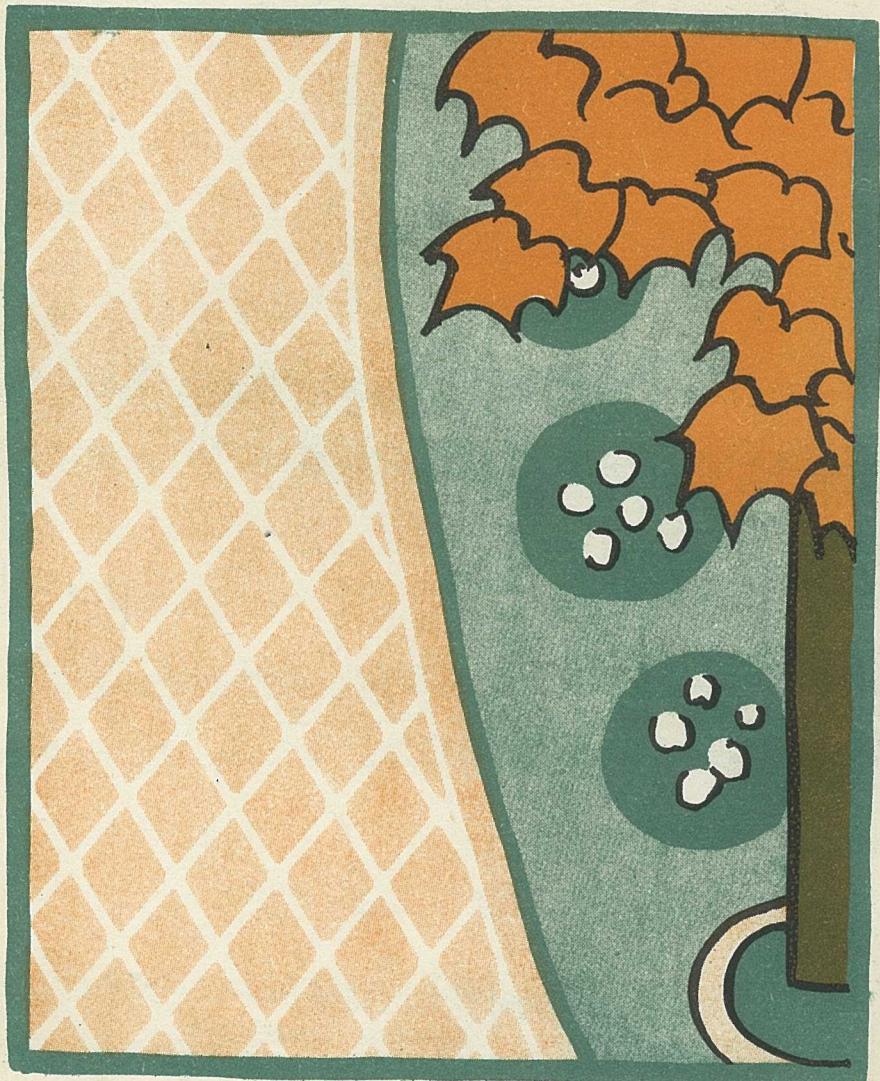


昭和八年九月一日(月曜日)発行

良改の路道



第十三卷 第十二號

行發會貢改路



日本石油株式會社道路部

東京 東市九丁目三、四
横浜 市中区本牧北田二二五八
大阪 大阪市西区江戸堀南通三ノ一八
京都 下京区中堂寺庄内町三〇
下關 下關市山陽町七十九
小樽 小樽市花園町東四一、三
台北 台北市木町一、四三
新潟 新潟市南大門通五、一
秋田 土崎港町

所

88m

專
利
特
許

瀝青乳剤
エマルビア

鋪裝工事用
防水工事用



EMULVIA

東京瀝林工業所

東京市京橋区銀座西三丁目（碌々館）
電話京橋(56)一三二五番

製造工場

横浜市鶴見区菅沢町一九五
電話鶴見一一三一番

工事部

大倉土木株式會社

東京市京橋区銀座二丁目
電話京橋(56)自二一三〇番 至二一四九番

說明書贈呈

道路の改良 第十三卷 第十一号 目次 昭和六年十二月一日發行

口繪

薨去せる顧問瀧澤子爵

論 説

交通經濟と道路の改良

道路改良會 評議員 中野金次郎(三)

研 究

宿場役人に就て

(四) (五) (九)

京都帝國大學
經濟學部

和田篤憲(九)

技 術

輓近の橋梁

(完)

内務技師
工學博士

三浦七郎(八)

構造物の實驗解法

(五)

内務技師

青木楠男(五)

セメントの化學的抵抗性に就て

(五)

内務技師

西川榮三(六)

海外道路時事

佛領印度支那の道路

内務省土木試驗所長
工學博士 物部長穂(七)

海牙ロツルダム間の大幹線道路
混擬土桁橋
軌道上運轉の大自動車

世界最大の鐵筋

物部博士の航空港の語に就て

房生(八)

道路に關することを

紹介

満洲地方に於ける

土木事業と都市計畫施設

拓務技師 三浦磐雄(七)

道路警戒標と道路方向標

大阪府土木部道路課(二九)

道路工事執行標準示方書

徳永泰人譯(三四)

通信

歐米ところどころ

(補)

東京府
土木部長 来島良亮(三三)

地方通信

北海道方面
東北方面 上越方面 關東方面 東海方面 關西方面 中國方面 九州方面

法令

質疑應答

雜報

幹事會及理事會

叙任辭令

編輯室の内外

附錄 本誌第十三卷總目錄

(一四)
(一五)
(一六)

PAVEMENT

淺野物産株式會社道路部

東京市麹町區丸ノ内一丁目六番地ノ一



新發賣品

瀝青乳劑「ウォーターフアルト」
アサノアスファルトブロック

アスファルト鋪裝

コンクリート鋪裝

A B C 式簡易鋪裝

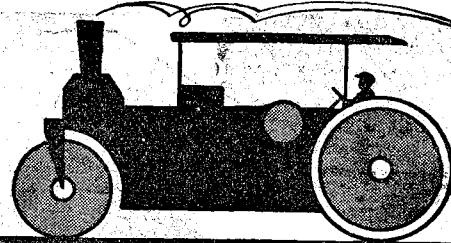
瀝青乳劑「ウォーターフアルト」鋪裝

アサノアスファルトブロック鋪裝

爵子澤瀧間顧るせ去薨



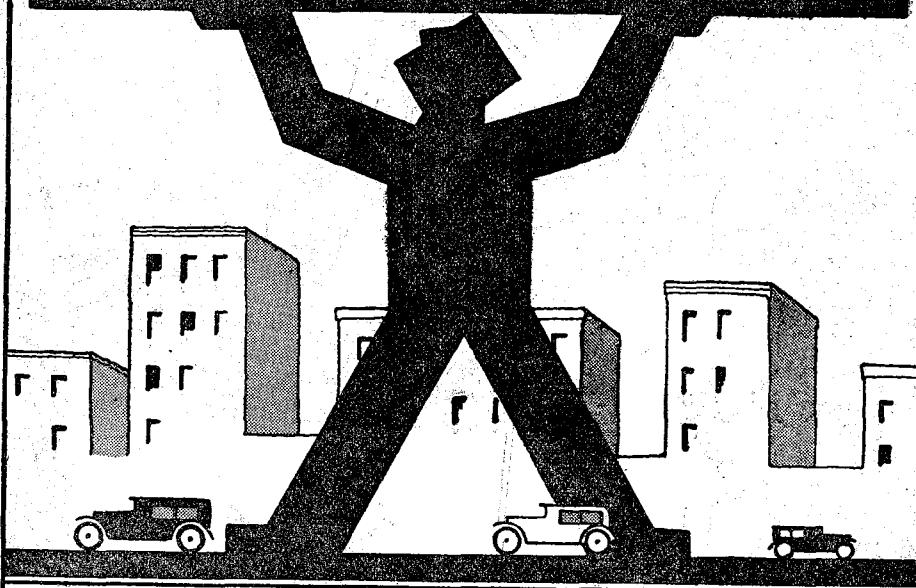




道路鋪裝請每

株式會社

高野組



本社

東京市麹町區丸，內三丁目三菱廿一號館
電話丸，內(23)一九四八番

「二里半の乳剤鋪装道路」産る

これは國產の乳剤『エムラス』の大工事

宮城縣は仙臺鹽釜間の道路維持費年額二萬圓(總工事費の約一割五分)を節約し且輸送能率の増大を圖る爲め其道路を鋪裝中であります、之れ即ち道路の經濟化であります最も時機に適した國家的生産的事業だと拜察致します。

弊社はこの妙案に對し最低の工費を以て最大の結果を揚ぐべく最大の努力を盡して工事の完成を急ぎつゝありますから御序の節は御覽下さい。

工事内容

- 一、鋪裝面積延長九千八百米突 幅員五米突
- 二、鋪裝厚 八厘
- 三、乳剤エムラス使用量一平米突十二立
- 四、碎石 主骨材村民手割品 小碎石輕量碎石機五臺の製品
- 五、保證付

弊社工事中の個所

群馬縣	伊勢崎町
埼玉縣	川口町、熊谷町
長野縣	上田市、松本市、長野市、淺間町
宮城縣	仙鹽街道
北海道	旭川市、室蘭市
青森縣	青森市

滋賀乳剤エムラス
總代理店 日本ビチュマルス鋪裝工業株式會社
専務取締役 馬渡

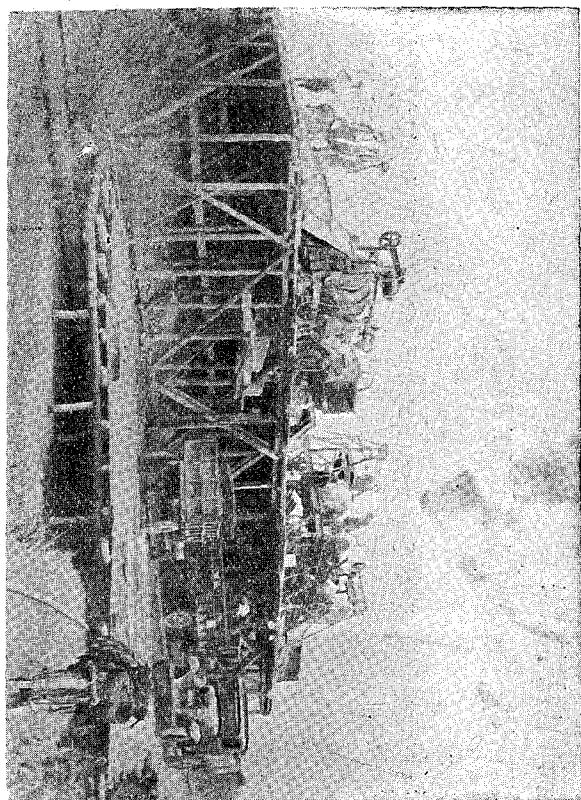
東京市麹町區丸ノ内三丁目十番地
(23)電話丸ノ内特長四八二九八二番地

自給自足の木工事請負者

出張所

大阪市東區北濱二丁目九番地

本日ツチデリソ工事道國阪京



高級セメントネオリティツト
混凝土骨材花崗岩碎石及花崗砂
伸縮目地材ミクニエラスタイド
歩車、軌道用ブロツク其人造石

片倉ビル内電話自三一六〇至三一六九
東京市京橋區京橋三丁目二ノ四

況狀搬運石膠トツチデリソ事工道國阪京

簡易舗装

乳剤界の明星

EMULAS

エムラス

專利特許

純国産品



優良～至廉

能力. 25噸/日

日本エムラス工業所

東京府下吾嬬町西四ノ二四 電話墨田(74)一七〇九番

日本
アスル
スル
スル
スル

日本鑄業株式會社

東京丸ノ内
電話丸ノ内(23)1241-7

大阪中之島
電話本局 260-4

昭和六年

道路の改良

十二月一日

第三十卷
第二十號

弔　　詞

正二位勳一等子爵澁澤榮一君薨去セラル君夙ニ我邦道路ノ改善ヲ
提唱シ曩ニ朝野有志ノ協力ヲ得テ道路改良會ノ創設ニ盡サル、所
アリ爾來會ノ顧問トシテ指導鞭撻ノ勞ヲ執ラレ屢々本會ノ意見ヲ
要路ニ披陳スル等本邦道路事業ノ進展君ニ負フ所亦頗ル大ナルモ
ノアリ今忽焉トシテ其長逝ニ遭フ痛惜何ゾ堪ヘン然リト雖モ道路
改良ニ關スル君ノ志ハ永ク後昆ニ及ヒ其ノ功績ハ不朽ニ傳ハリテ
滅スルコトナカルヘシ茲ニ本會ノ微忱ヲ捧ケ恭シク弔ス

昭和六年十一月十五日

道路改良會長　水野鍊太郎